



トビイロウンカ生態・対策

トビイロウンカの生態

・トビイロウンカ(写真1)は1ヵ月ほどで世代交代を行い中劇に増殖し坪枯れ(写真2)が発生させることがあります。

・昨年も市内一部地域で発生していましたが、今年も亀岡市で発見されているので京都市内でも今後収穫期を迎える水稻は十分注意してください。

※トビイロウンカは局所的に発生する傾向があるので、ほ場をよく観察し発生に注意して下さい。



写真1



写真2

トビロウンカ対策

- ・低湿田、通風不良田、多肥田等では発生しやすいので注意が必要です。
- ・必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努めてください。
- ・出穂前後に害虫防除を実施したほ場では被害（坪枯れ）が生じる可能性は低いと考えられますが、ほ場によっては密度が高くなることもあるので十分注意してください。

トレボン乳剤



作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

マラソン乳剤



作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マラソンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類	2000倍	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内